

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	経済学B	
科目基礎情報							
科目番号	0097			科目区分	一般 / 必修選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	機械工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	なし						
担当教員	武長 玄次郎						
到達目標							
日本と世界を取り巻く経済状況は、年々不安定さを増している。それについて、理論と実際の両面から理解できるようにすることが目標である。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	日本経済の現状と問題点を把握し、分かりやすく説明できる。			日本経済の現状と問題点をある程度理解できる。		日本経済の現状と問題点を十分理解できない。	
評価項目2	日本経済と世界の関わりを多角的に説明できる。			日本経済と世界の関わりを説明できる。		日本経済と世界の関わりを説明できない。	
評価項目3	日本経済の状況を自分の将来の問題と関連づけて考え、何らかの解決策を案出できる。			日本経済に関する自分の考えを提示できる。		日本経済に関する自分の考えを説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本経済の取り巻く問題点を理解し解決策を探る。						
授業の進め方・方法	講義形式で進める。						
注意点	授業90分に対して、教科書や授業中に伝える教材等で同じ時間予習と復習を行う。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス		授業方法の理解		
		2週	GDPとは何か		GDPについて理解できる		
		3週	消費の仕組み		消費が経済発展とどう結びつくかを理解できる		
		4週	日本人の貯蓄と投資		日本人の貯蓄行動と投資について理解できる		
		5週	金融の仕組みと株式市場		金融および株式市場の基本的な枠組みについて理解できる		
		6週	貨幣の仕組み		経済の上で不可欠な、貨幣について理解できる		
		7週	貨幣の需要と供給		貨幣の需要と供給を適正化する仕組みを理解できる		
	8週	日本銀行の役割		日本銀行の歴史と業務内容、今後の役割を理解できる			
	4thQ	9週	乗数理論とIS-LM分析		経済発展の理解に不可欠な、乗数理論およびIS-LM分析を理解できる		
		10週	経済対策の必要性和景気循環		循環する景気の中で経済対策がなぜ必要か、その効果について理解できる		
		11週	財政問題と国債		国債など日本の財政問題を理解できる		
		12週	インフレとデフレの歴史		インフレの問題点、デフレの影響を世界的・歴史的に理解できる		
		13週	失業問題		日本の失業問題の現状を理解できる		
		14週	経済成長と格差		何が経済成長をもたらし格差を生むのか、国際経済の見地から理解できる		
		15週	為替レートと国際通貨制度		経済を左右する為替レートの決定条件を理解し、国際的な通貨制度について認識できる		
16週		まとめ					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	50	0	0	0	50	100
基礎的能力	0	30	0	0	0	20	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	20	0	0	0	30	50